

お兄さん、お姉さんのように仲良くなって
“やる気”を引き出し、自分の気持ちで勉強
できるように ひっばっていきなう😊



～目次～



① はじめに	3
② 指導理念	5
③ 初回指導日 ～第一印象が大事～	7
④ 2回目以降の指導	9
⑤ ここが重要! 5教科の教え方	10
⑥ 学習計画の立て方	11
⑦ 学習の定着度について	12
⑧ 指導報告書と指導料について	13
⑨ 声かけの工夫	15
⑩ 成績アップへの近道	16
⑪ こんな時、どうしたらいいの?	17
⑫ 就職活動について	17
⑬ 発達障害(発達症)について	18
⑭ 不登校について	18

1 はじめに



はじめに

この度は、生徒さんを受け持っていただき、ありがとうございます。
きっと「どんな生徒さんを教えるのかな?」「うまく教えられるかな?」など
わくわくドキドキして、期待と不安が入り混じっているのではないのでしょうか。

この『ティーチングマニュアル』では、説明会でお話した、私たちの方向性・指導法などを
わかりやすくまとめています。

ご家庭からよく質問される内容などもまとめてありますので、初回指導日までに必ず目を通しておいて下さい。

現在、ご家庭で指導している先生たちも、このやり方で成果を出していますので、一日も早く生徒さんの成績を上げて、ご家庭に喜んでもらえるよう頑張ってください。

家庭教師に一番求められること

指導に入る前に知っておいてほしいことがあります。
家庭教師に一番求められるものは何だと思いませんか?

意外にも『学歴・大学名』や『指導経験』ではありません。
実は、**何よりも大事なものは【人柄】**なんです。

もちろん、勉強を教えて日々の学習習慣をつけていくのが私たちの仕事ですから、しっかり勉強のサポートを行なっていくことは必要なことですが、それとは別に『生徒さんの良き理解者』であってほしいのです。

単に、わからないところの勉強を教えていだけでなく、生徒さんの部活や習い事、学校での悩みなどを聞いてあげ、生徒さんが毎日の勉強に対して前向きに取り組んでいける**勉強のしやすい環境を作ってあげることも大事な仕事**です。

これから指導していく上で、絶対に必要なことは **「生徒さんの気持ちを理解して話す」**ということです。

生徒さんの話にも興味を持ち、『勉強もしっかり教えてくれる、なんでも話せるお兄さんお姉さん』を目指しましょう!

喜ばれる先生を目指して

生徒さんや保護者さまから「先生が来るのを楽しみにしている」という話を聞くと、先生本人だけでなく、私たちスタッフも本当にうれしいものです。
もちろん、うまくいく時もあれば、うまくいかない時もあります。ただ、そういった時には意見交換をして一緒に解決していきましょう。

以下に、『印象の良い先生』と『印象の悪い先生』の例を挙げておきますので、常に意識をして指導を行なって下さい。

印象の良い先生

- 明るくハキハキ話して元気が良い
- 指導後も今日のまとめや課題を丁寧に教えてくれる
- 勉強以外の相談や悩みも聞いてくれる

印象の悪い先生

- × 自分の都合で指導日の変更が多い
- × 時間にルーズ
- × 指導中、携帯をいじったりしている
- × 時間ちょうどに指導が終わりすぐに帰る

コミュニケーションのポイント

① 生徒さんが好きそうな話をしてあげる

指導カルテや、生徒さんの部屋の様子を見て、生徒さんの興味のある話からしてあげて、親睦を深めて下さい。

② 生徒さんの話を興味・関心を持って聞く

①で話題に出した内容に対する生徒さんの返答や、学校の話、部活の話、友達の話など、生徒さんが話す内容に興味・関心を持って聞いてあげて下さい。自分の話を真剣に聞いてくれる相手に人は好感を持ちます。

③ 生徒さんが答えにくそうな時は、YESかNOで答えられるようにする

最初は恥ずかしがって、なかなか話せない生徒さんもいますので、簡単な質問からしてあげ、答えやすい環境を作ってあげて下さい。

例)「○○くんは、家ではどんなことをしてるの?」 → × (答えづらい)
「僕が中学生の時は、家でよくゲームをやっていたけど、○○くんはやっぱりする?」 → ○

どんな先生に来てほしい? ～生徒さん100人に聞きました～



- 第1位 話しやすくおもしろい先生
- 第2位 自分の気持ちをわかってくれる先生
- 第3位 優しく頼れる先生
- 第4位 教え方が上手な先生
- 第5位 趣味・話が合う先生



2 指導理念



指導理念

あすなろは20年以上続けてきた家庭教師という仕事を通し、たくさんの生徒さんと接してきた中で、なかなか成績が伸びない生徒さんに共通点があることに気づきました。

その共通点とは、

- ① 勉強の習慣がない。(塾・家庭教師がある時しか勉強しない)
- ② 今のレベルと合っていない。(難しい問題ばかりやっている)
- ③ ただやっているだけで、勉強が雑になっている。
- ④ 宿題を指導の前日や当日にあわててこなす。
- ⑤ やり方がわからない。(普段の勉強で何から始めていいのかわからない)
- ⑥ 「できる」「わかる」といった、勉強に対しての成功体験がない。

の6つです。

この6つに対して、次の指導理念にて成績アップをサポートしていきます。

教科書・授業の内容を中心に指導

<公立中学校の場合>

定期テストも高校入試も、学校の教科書・授業の範囲内からすべて出題されます。

また、高校入試は試験の点数だけでなく、内申書など学校の成績も重視されます。(絶対評価に変わったので、入試の結果と内申書の比率を「6:4」にする学校が増えました。)

授業内容を押さえることができれば、入試前にあわてることはありません。

そのため、学校の教科書を理解しきれていない段階で、塾のような難しい問題をやったり特殊な勉強をやるのではなく、まずは **学校の授業やテキストを中心にしっかり理解させていくことが重要**です。

<私立中学校の場合>

公立中学校に比べ授業のペースが早いので、短時間でポイントを押さえる必要があります。

また、公立と同じように教科書中心で授業を進める学校もあれば、一切使わずに独自の教材を進める学校もあります。授業で教科書を使っていない学校では、すでに生徒さんが教科書を理解していることが前提で授業が進んでいきます。そのため宿題や課題の量が多く、自宅での学習がとても重要になってきます。

※特に高校受験のない私立中学校は、のんびりしてしまいがちで、授業についていけないと周りとの差が出てしまい、高校に上がってから焦ってしまう生徒さんがとても多いです。

最低限、学校のペースについていけるように、予習・復習の習慣をつけてあげてください。

生徒さんのペースに合わせた指導の徹底

家庭教師は1対1の指導なので、生徒さんが質問してこなくても、こちらから教えていくことができます。また基礎が抜けていれば、前の学年に戻って根気よく教えられるというメリットがあります。

もちろん、生徒さん1人ひとり性格やレベル、ペースが違います。その生徒さんにあったレベルやペースを考えて指導していかなければ、生徒さんは「宿題をこなすだけ」というような『やらされている感』から抜け出せず、勉強自体が”作業”になってしまいます。

これでは勉強が身につかないどころか、時間ばかりかかってしまい、成果にも繋がりません。

生徒さんの状況をしっかり理解し、レベル・ペースに合わせた指導を心がけて下さい。

勉強の習慣づくり(予習・復習のやり方)

わからない問題を教えるだけでなく、『予習・復習計画帳』を使い、先生のいない1週間分の宿題や予習・復習のスケジュールを一緒に立ててあげてください。

先生が来た時だけの勉強では、成果に繋がりません。**何度も何度も繰り返しやり、少しずつ学習を定着させていくことを目指して下さい。**

そのために、先生がいない時の勉強に焦点を置き、何をやればいいのか明確になるように、細かく指示を出しましょう。

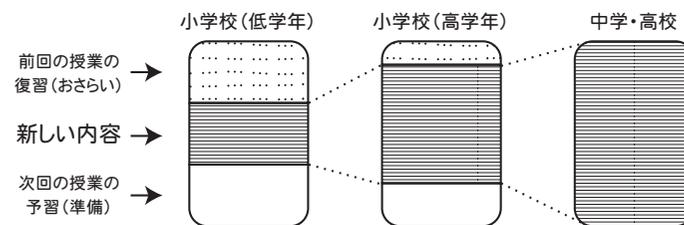
その際は、生徒さんが確実にできる量・内容に調整して、「できる」「わかる」という、勉強の成功体験を作ってあげてください。



ポイント!

小学校低学年と違い、高学年になると授業内での予習・復習の時間は少なくなり、中学高校では予習・復習に時間を割かないため、生徒さん自身が家庭で予習・復習をする必要があります。

学校の授業を押さえる上で「予習・復習のやり方」が一番のポイントになってきます。



3

初回指導日 ～第一印象が大事～



初回の印象が重要

先生同様、ご家庭でも「どんな先生が来るの?」「楽しく教えてくれる先生だといいなあ」と期待と不安でいっぱいです。緊張すると思いますが、初回の印象はとっても大事です。良い印象で終われるように頑張ってください。

初回指導の流れ

初回指導日 までの準備	① ご家庭への道順をしっかりと確認。 ② 指導カルテで生徒さんの状況をしっかりと把握。 ③ プロフィールカードに間違いがないか確認。 ④ あいさつの仕方や、生徒さんとのコミュニケーションの練習をしましょう。 ⑤ 何度もこの冊子を読み、内容を把握しておいて下さい。
----------------	---

自己紹介	指導の開始15分前には到着しておきましょう。万が一遅れる場合は、必ず事前に保護者さまへ連絡して下さい。 玄関先にて簡単に自己紹介をし、プロフィールカードを渡して下さい。 ※あいさつ、靴の脱ぎ方など、良い印象を持ってもらえるよう意識して下さい。
コミュニケーション	指導を行なう部屋に案内してもらい、生徒さんとコミュニケーションを取りましょう。最初は先生以上に生徒さんも緊張していますので、いきなり勉強の話に入るのではなく、趣味や学校のことなど話をしながら仲良くなって下さい。 ※趣味や、部屋の様子などの話から入ると話しやすいです。
テキストの照合	打ち解けてきたら、教科書とテキストの教科書会社の照合をして下さい。
学習方法を指導 (状況確認)	まずは応用問題など時間がかかる難しい問題ではなく、生徒さんのできる基礎問題を解きながら、今の授業の進み具合・苦手なところ・わかっているところなどを聞き、生徒さんの現状のレベルを確認して下さい。
学習方法を指導 (今後のプラン作り)	生徒さんの現状のレベルを把握したら、今後の指導の方向性(目標や指導のベース、時間配分、宿題の量の調整など)をしっかりと話し、不安を取り除いてあげて下さい。
予習・復習計画帳の 作成	最後にまとめて作ると、5～10分かかってしまい、生徒さんが手持ち無沙汰になってしまうので、問題を解かせている時に少しずつ計画帳を埋めていきましょう。 ※計画帳作成の際は、生徒さんのレベルをしっかりと把握し、最初は負担があまりかからないような計画を立ててあげて下さい。
保護者さまに報告	報告書に日付と時間数を記入し、生徒さんを少し褒めてから、今日の指導内容を簡単に説明しましょう。

初回指導日の持ち物

初回指導日の持ち物を確認しましょう。□にチェック!

- 指導報告書
- 月謝袋
- プロフィールカード
- 予習・復習計画帳
- テキスト確認表(テキストのあるご家庭のみ)

初回指導を良い印象で終わるための5つのポイント

- 初めて行く家なので、迷うこともあります。時間に余裕を持って行きましょう。もし地図を見てもわからない場合は、必ず事前に保護者さまに電話して道案内をしてもらいましょう。
- ご家庭の方、生徒さんの目をしっかりと見て、元気よくあいさつをしましょう。(家にあがるときは靴をそろえましょう。礼儀を大切に)
- 自己紹介は「一生懸命頑張る」という気持ちを込めてしっかりと。
- 勉強嫌いの生徒さんがほとんどなので、いきなり勉強から始めず、音楽など趣味の話や部活の様子、友達の話などを興味を持って聴いてあげましょう。堅い話は抜きにして、生徒さんが気軽に話しやすい話題をふってあげましょう。(自分の経験なども話してあげて下さいね)
- 初回は、生徒さんのレベルを把握するために、英数2教科くらいを指導しましょう。つまづいているところ、生徒さんの勉強の様子、今学校でやっている範囲などを確認しましょう。(宿題の指示も忘れずに)

勉強のできない生徒さんの気持ちを理解して話そう

初回はもちろん、今後も必要なのが「生徒さんの気持ちを理解して話す」ことです。

私たちが教えている生徒さんのほとんどが、成績1～3(5段階評価)の生徒さんです。生徒さんのほとんどが、大学生に対して「勉強がもともとできるんだ」「自分とは違う」と思っています。そこで、生徒さんとコミュニケーションを取るときは、「勉強ができた話」ではなく、「自分自身のできなかった経験」や「つまづいた経験」など、勉強で苦労したことを話してあげましょう。

そうすることで「頑張ってみよう!」「やればできる!」という気持ちが作りやすく、生徒さんとの関係が円滑になります。

4ページにある「どんな先生に来てほしい?～生徒さん100人に聞きました～」にもあるように、「自分の気持ちをわかってくれる」というのは、生徒さんにとっては何よりも大事だということ意識して下さい。

4 2回目以降の指導



家庭教師が出した宿題をやっていない時の対応が、成績アップのカギ

2回目の指導で特に意識してほしいことは、家庭教師が出した宿題をやっていない時の対応です。ここの対応で、今後の習慣がつかかどうかが決まってきます。

成績が上がるかどうかは、勉強の習慣にかかってくるので、最初の1ヶ月は「勉強の習慣づけ」を特に重視して指導して下さい。

宿題をやっていない主な原因

- 量が多かったり、内容が難しかったりした。
- 科目に偏りがあって、やる気にならなかった。
- 何をやらばいいのかが、よくわからなかった。

「宿題ができなかった原因は何だったのかな?」と優しく問いかけ、指示の出方を工夫していきましょう。

2回目以降の指導の流れ

コミュニケーション	2回目の指導以降も、指導の10分前には到着し、いきなり勉強に入らず、学校や遊びなど、1週間の出来事など話してあげてから指導に入って下さい。
宿題の確認	計画帳通りに宿題がこなせたかどうかを確認。宿題をやっていない場合は、頭ごなしに叱るのではなく、できなかった理由を聞いてあげてください。宿題をやっていた場合は、褒めてあげて下さい。
学習方法を指導 (宿題をやっていない場合)	宿題に出していた問題を何問か選び、一緒に解いてあげてください。解くのに時間がかかるようであれば、その単元の基礎や、関連する過去に学習した単元の基礎に戻って指導してあげて下さい。
学習方法を指導 (宿題をやっていた場合)	答え合わせをしている間に、宿題に出していた類似問題を何問か選び、解いてもらいましょう。その際、答え合わせだけでなく、問題を解くスピードや解き方に迷いが無いかを確認し、しっかりと基礎が理解できているか確認して下さい。すぐに応用問題などに入るのではなく、ここでしっかりと基礎学力を定着させてあげて下さい。また、基礎学力がついてきたら、生徒さんのレベルに合わせて、問題の量や難易度、進度を決めて指示を出して下さい。 ※習慣が身についたら、自分で答え合わせまでできるように指導していきましょう。
予習・復習計画帳の作成	前回の宿題の出来具合や、宿題に出していた箇所の理解度に応じて次の学習計画帳を作成して下さい。 学校の授業で学習している単元が、ほとんど理解できていない場合は、予習は要点の箇所を読む程度にし、その学習単元に関連した過去の基礎部分の学習を中心に課題を与えてみて下さい。 課題を順調にこなしている場合は、問題量を増やすのではなく、応用問題などを混ぜながらレベルを上げていって下さい。
保護者さまに報告	生徒さんを少し褒めてから、今日の指導内容を簡単に説明しましょう。

5 ここが重要! 5教科の教え方



ほとんどのご家庭から「教科ごとにやり方を変えず、5教科全体的に見てほしい」という要望をいただいています。

しかし、時間内にすべての教科をまんべんなく、完璧に指導することは正直難しいですよ。そこで、バランスよく指導するためには、それぞれの教科の要領を生徒さんにつかませることが成績アップへの近道です。

英・数・理(1分野)

授業とのつながりが強い科目です。暗記科目と違い、単純に覚えたからといって点数が取れるわけではありません。毎日の予習・復習で、基本を積み重ね、力をつけることで応用につながっていく教科です。教える時間の比重を多くしてあげて下さい。

もし、指導時間の中で生徒さんにわからないところや基礎が抜けている所が出てきたら、過去にさかのぼって確実に見直していって下さい。

国・理(2分野)・社・英単語

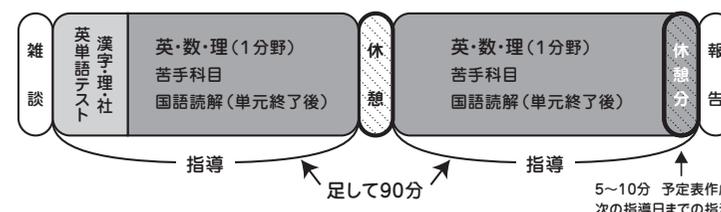
暗記の要素が強いので、覚えれば覚えた分だけ点数が取れます。ただし、指導時間内に覚えさせると効率が悪くなります。普段から指導日以外の宿題として指示を与え、覚えられる工夫をして下さい。

テキストには、テストに出る要点がまとまっていますが、テスト前にすべてやろうとすると終わらないうえ、ただの詰め込み勉強になってしまいます。生徒さんの学校のペースに合わせて行なうようにして下さい。

習慣をつけさせるために、次の指導日に宿題をやっているか、確認テスト(小テストや口頭でクイズ形式の質問など)でしっかりチェックして下さい。

時間配分の例(90分指導の場合)

※ご家庭によっては60分や120分、兄弟一緒に教える場合などもあります。



- 指導開始10分前には到着し、開始前に生徒さんと雑談して、コミュニケーションを取りましょう。
- 指導30分に対し、5分程度を目安に休憩を取って下さい。※休憩した分は延長して下さい。
- 指導後は必ず、保護者さまに指導報告を行なって下さい。

6 学習計画の立て方



みなさんが家庭教師として教えるのは、1週間のうち1・2回程度です。それに対し、学校の授業時間や生徒さん1人の時間は週5・6日と、こちらの方が圧倒的に多いですね。

どんなに一斉懸命教えても、1人の時の勉強法をしっかりと教えてあげられないと、絶対に成績は伸びません。(生徒さん1人の時の『予習・復習の与え方』が重要なんです。

ただ、習慣はそんなに簡単に身に付くものではありません。”根気強く、あきらめずに”やっていきましょう。私たちの経験上、どんな生徒さんでも習慣は身に付き、習慣が付けばどんな生徒さんでも学力は伸びます。

予習・復習計画帳の使い方

- Step1 計画を立てましょう
生徒さんから聞いた学校の様子をもとに計画を立てましょう。
- Step2 宿題を一緒に決めましょう
生徒さんと一緒に1週間のスケジュールを決めます。
- Step3 目標を立てましょう
絶対にクリアしたい1週間の目標を立てましょう。

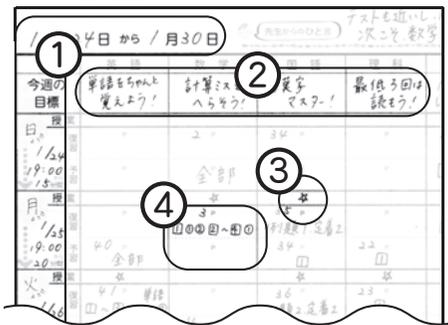


生徒さんにやってもらうこと

計画帳はすぐ取り出せる場所に置き、毎日確認！勉強した時間も書いてもらいましょう。指導がある前の日に、自己チェックと今週がんばったことを書いてもらいましょう。

予習・復習計画帳の書き方

- ① 日付を書き入れる
- ② 今週の目標を立てる
- ③ 授業のある日に☆をつけ、前日と当日に予習・復習をさせる
- ④ やるページと番号を記入



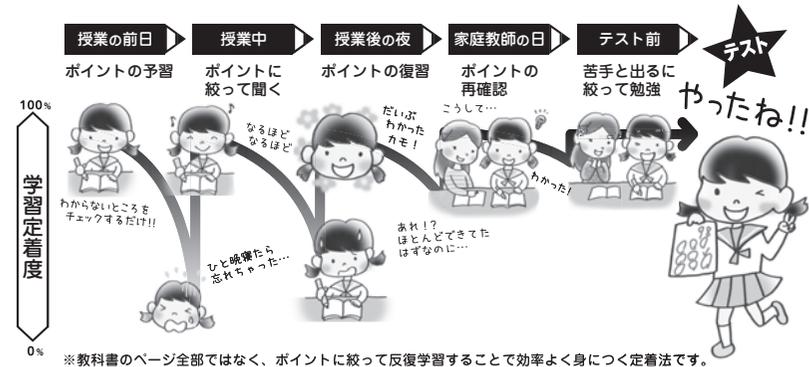
7 学習の定着度について



スポーツでたった1日練習をがんばったとしても、次の日にうまくなっていることはないように勉強も同じで、勉強しただけで成果につながることはありません。”授業の予習→学校の授業→授業の復習→家庭教師の指導”というように繰り返し学習をすることで身につけていきます。

また、個人差もありますが、だいたい3ヶ月を過ぎたぐらいから急激に成果が出始めます。(基本や習慣が全く身につけていない場合、1年後から伸びる生徒さんもいます。)

はじめの1~2ヶ月は、ペースが崩れやすいので、毎日少しずつでもできるように指導日以外でもメールや電話を週1、2回入れるなどフォローをしてあげてください。



これだけは徹底してほしい5つのポイント

- ① 生徒さんが自信をなくすような言動は絶対しない
「バカ」「頭悪いな」「なんでこんなものもわからないの?」など
- ② 押し付けるように「わかったでしょ?」的な発言は禁句
- ③ 機械的に教えて、ただ宿題を与えても絶対習慣はつきません
休憩をはさんで、勉強以外の話をして、楽しくメリハリをつけましょう
- ④ 生徒さんのレベルに合わせて宿題の量を1日ごとに調整しよう
- ⑤ テストの点数や成績などを踏まえ、常に目標をもたせよう
成績が2の生徒さんに対して「5を取ろう」など極端なものはNG。本人の勉強のペースや性格を考えた目標づくりが大切です。

いろいろなご家庭があるなかで、生徒さんの状況やペースもそれぞれ違います。しかし、どの生徒さんにも共通して言うことは『必ず伸びる方法がある!』ということです。そのために欠かせないのが、「習慣づけ」を根気強く行うことです。

生徒さんに合わせて楽しくできる方法、やりやすい形と一緒に考えていきましょう。

8

指導報告書と指導料について



指導報告書は、生徒さんだけでなく、保護者さまとのコミュニケーションを取って信頼関係を築き、指導を円滑に進めるために、とても大切なものです。
保護者さまにも、毎月の指導報告書の提出を約束しています。あすなろとしても報告書がないと様子がわからないので、問題が起こった場合フォローすることができません。
報告書は、あすなろ、ご家庭、家庭教師のみなさんをつなぐものなので、必ず毎月提出して下さい。

指導報告書の書き方

ポイント①

日付と時間数は保護者さまに確認してもらいながら、先生が記入してください。指導料を頂いたら、受領印を押してください。

ポイント②

来月の指導予定日を記入してください。

ポイント③

全ての項目にチェックを入れてください。

ポイント④

各教科のテキストの使用ページと指導状況を具体的に書いてください。(明)
「よくできている」だけでなく、「連立方程式がミスなくできるようになった」など、できるだけ具体的に書いてください。

ポイント⑤

保護者の方が一番目を通す箇所なので、しっかり記入してください。
生徒さんのやる気につながるコメントが◎

ポイント⑥

テストの点数や通知票の結果を記入してください。
次回のテスト期間が分かった時点で記入してください。

ポイント⑦

生徒さんに一ヶ月の感想を記入してもらってください。

ポイント⑧

内容を確認して頂いた上で保護者さまにコメント・サインをもらってください。

2021年 10月分指導報告書

生徒名: 山田 太郎 学年: 1年生
 生 徒 宅 TEL: ××××××××××××××

指導報告書の提出は7日必着です

教師名: 伊藤 花子
 TEL: 090-××××××××××

基本指導ペース: () 回 / () 月 / () 回

日付	時間数	教師受領印	日付	時間数	教師受領印
6/9	1.5h				
6/14	1.5h				
6/21	1.5h				
6/28	1.5h				

時給1,750円 × 合計指導時間 6h → 指導料合計 10,500円
 往復交通費 300円 × 指導回数 4回 → 交通費合計 1,200円
 → 合計 11,700円

保護者の手に指導の様子を報告していますか?
 動画 (白黒・カラー) 写真 (白黒・カラー) 音声 (白黒・カラー) 録音機 録音機 録音機

指導内容と指導状況

教科	指導内容	指導状況
算数	1対1指導	初めての中間テストでよく頑張ったと思います。日頃の勉強の成果が出たと感じます。最近はずり、後輩の習慣がついてきました。この調子で一試に頑張ります！
国語	1対1指導	読書の楽しさや物語の面白さを感じました。漢字の練習も進んでいます。漢字の練習も進んでいます。
英語	1対1指導	英語の勉強が楽しくなりました。単語の練習も進んでいます。単語の練習も進んでいます。
理科	1対1指導	理科の勉強が楽しくなりました。実験の準備も進んでいます。実験の準備も進んでいます。
社会	1対1指導	社会の勉強が楽しくなりました。歴史の勉強も進んでいます。歴史の勉強も進んでいます。

★今月の指導内容★
 テキストの使用ページ
 算数 50～55 → IP 2 → P. 5
 国語 10～15 → IP 2 → P. 7
 英語 10～15 → IP 2 → P. 7
 理科 10～15 → IP 2 → P. 7
 社会 10～15 → IP 2 → P. 7

★今月の感想・来月の対策など★
 初めての中間テストでよく頑張ったと思います。日頃の勉強の成果が出たと感じます。最近はずり、後輩の習慣がついてきました。この調子で一試に頑張ります！

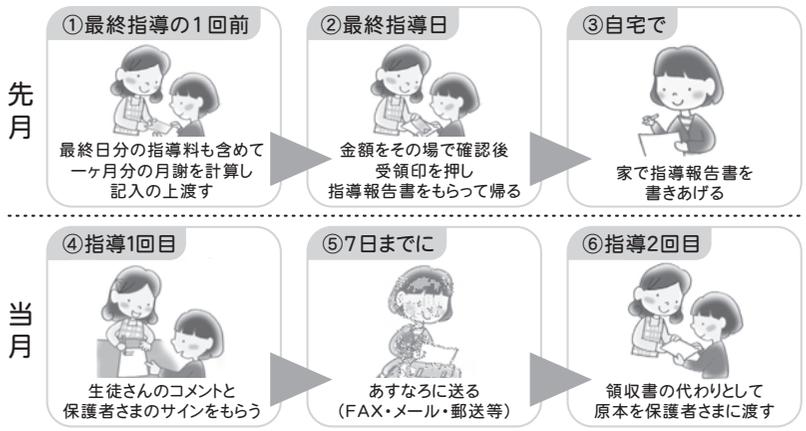
★今回のテスト期間を教えてください★
 算数 70 国語 60 英語 85 理科 90 社会 95
 中間テスト (実力テスト) 6月28日～6月29日

1ヶ月の感想 (自分のこと、担当の先生のことなど)
 社会でいい点数がとれなかった。期末では数学で80点とりたいです。先生と楽しく勉強できて良かったです。

保護者さまの感想
 いつもご指導ありがとうございます。太郎も先生の説明が分かりやすくなりました。内容は家庭教師の日を楽しみにしているようで、勉強に対してやる気が出てきました。これも先生ののおかげです。引き続きご指導よろしくお願いします。 保護者さまサイン 山田

慣れると10～15分で記入できます。記入が終わったら、生徒さんと保護者さまにコメントを記入してもらってください。

指導報告書の提出の仕方と指導料の受け取り方



- ①指導報告書は指導内容の報告・指導料の確認のための用紙です。月1枚作成して下さい。
- ②月末の最終指導日に保護者さまと指導内容・指導料の確認をして下さい。
- ③保護者さまの記入、指導料を受領した後ご提出ください。
- ④指導報告書はご家庭での保管となります。提出後、保護者さまにお渡し下さい。
※郵送の場合、各自指導報告書をコピーし、コピーした指導報告書を郵送して下さい。
- ⑤提出期限は毎月7日です。
※万が一遅れる場合、提出期限前に提出可能日をご連絡ください。
※報告書の用紙が無くなったら、各事務所までご連絡頂か、HPから無料でダウンロードできますので、ご利用ください。

指導料と交通費

指導内容	時給	指導内容	時給
1対1指導	1,750円	1対2指導	
小学生(授業の補修)	1,750円	小学生+小学生	2,000円
小学生(中学受験対策)	2,250円	小学生+中学生	2,000円
中学生	1,750円	中学生+中学生	2,000円
高校生	2,250円	小学生+高校生	2,500円
集中指導プラン小学生(3時間)	4,500円*	中学生+高校生	2,500円
集中指導プラン小学生(6時間)	8,000円*	高校生+高校生	2,750円

※「*」は集中指導プランの指導料の合計金額です。
 ※小学生の中学受験対策については高校生と同じ時給になります。
 ※ここに記載されている以外のプランについては、お気軽にご相談ください。

交通費は全額支給です。指導先のご家庭ごとに決まっている限度額まで支給されます。(限度額の範囲内でご家庭をご紹介します。)
 お持ちの定期範囲内については、交通費は支給されません。
 定期が切れる長期休み前などは、事前にあすなろにご連絡ください。

9 声かけの工夫



生徒さんを指導する中で、覚えておくとよりよい関係性を築くためのポイントを紹介します。ぜひ参考にしてみてくださいね。

伝え方に気をつけましょう

「このままだと高校には行けないですね」「やる気がないので難しいですね」など、たしかに現実を見たらそういう判断をしてしまいたくなる時はあります。

ただ、保護者さまは「何とかしてほしい」と期待をして、私たちに大事なお子さんを任せていただいているので、このような言い方はよくありません。

自分の判断ではなく、「以前受け持った生徒さんで同じような…」と、具体的な例を取り上げて解決策を伝えると、保護者さまにも安心していただけたらと思います。

解説をした後に「わかった?」と聞くのは、あまりよくありません

ふつうは「わかった?」と聞いてしまいがちですが、これだと生徒さんが少ししか理解していても「わかった」と答えてしまい、先生も理解したものとみなして進めてしまいます。

そのような時は「これ難しいかな?」と質問してみてください。

この方が、生徒さんが理解したかどうかの判断がつきやすくなりますよ。

簡単なところを間違えている時の声のかけ方

例えば【 $3a \times 4a$ 】の答えを【 $7a$ 】としている場合、明らかに【 $3a + 4a$ 】の計算と勘違いをしているのがわかると思います。

こんな時は「これ間違ってるよ!」というのではなく、「じゃあ【 $3a + 4a$ 】の時はどうなる?」と確認して掛け算と足し算の違いを気づかせてあげてください。こうすることで「できない」ということよりも「勘違いして覚えていた」というイメージがあるので、生徒さんのやる気をそぐことなく、指導を進めることができます。

質問した時に返答がない時

「これってどう思う?」などの漠然とした質問だと、答えたくてもどう答えたらいいのかかわからず、なかなか返答がない場合があります。

そんな時には、質問をできるだけ具体的に、生徒さんがYes/Noで答えられる質問に切り替えてみてください。

わからない問題に直面した時

基本は、テキストの解答・解説を見ながら教えるので、わからないということは少ないと思いますが学校の宿題や実力テストなどで解答がない場合、すぐ答えが出ないこともあると思います。

そんな時は「これは教えるのに時間がかかるから、先にこっちを優先してやろうか」と伝え、次回までに解答を考えます。

もしどうしてもわからない場合は、あすなろまでご連絡をいただければ、スタッフが一緒になって解法を考えますので、安心してご連絡ください。

10 成績アップへの近道



習慣づけへの近道

1週間分の指示を出しても、ただそれだけでは成績は伸びません。もし、生徒さんがギリギリになって一気に終わらせても、勉強の習慣づけにはつながりません。**1日ずつの細かい予定を立ててあげる**ことが初めのうちは肝心です。

指導に行った時にきちんとできているか、覚えているか、などのチェックは必ずしましょう。(週に1, 2回はメールや電話で様子を聞いてあげると効果的です)

もし、わからない問題が出てきたら、生徒さんに「解き方」や「答え」を単純に教える前に「なぜわからなかったのか」「どこでつまづいているのか」を必ず本人に考えさせて下さい。そのうえで、わかるようになるまでの「考え方」や「やり方」を教えてあげれば、生徒さんの頭にも知識が定着します。

わからない原因も、問題の答えも、必ず教科書の中にあります。そうやって常に教科書の基本に関連付けて教えましょう。その繰り返しで、生徒さんの1人の時間の勉強をやりやすくし、成績アップにつながっていきます。

テストで点数アップへの近道

定期テストは、家庭教師の成果を図る一種のバロメーターです。ご家庭の方も大きな期待を寄せています。**良い結果で乗り切るには、やはり普段の予習・復習は欠かせません。**

特に「テスト対策をやらなきゃ…」という場合は、テスト範囲が発表された段階で、授業のノートやプリントを参考にしながら、章末問題を生徒さんに解いてもらったり、今まで生徒さんがチェックしたわからないところや苦手なところを振り返って、わかるまで教えてあげて下さい。

解けなかったところは、教科書に繰り返し戻って、本番でばっちり点数がとれるように、引っ張ってあげて下さい。無理のない目標を立てて、一緒にがんばりましょう。

※テスト範囲と生徒さんの状況を考えて、「どうしても間に合わない」と感じたら、テスト期間中だけでも回数や時間を増やすことを保護者さまと相談してみてください。

春・夏・冬の長期休みを有効活用

長期休みは、生徒さんも学校の授業から解放されて、ウキウキしていると思いますが、期間中は学校の授業が無くなるため、その分学習する時間が減ってしまいます。

そこで、長期休みは生徒さんに学習習慣をつけるためにも、普段よりも多く学習の指示を出しましょう!(前学期、前学年の復習であれば1人でも学習しやすいです)そして必ず前学期の復習をしてわからないところをわかるようにしてあげて下さい。学期末テストの結果が戻っているなら、できなかったところを中心に復習を指示しましょう。

また、「前学期の内容はバッチリ!」という生徒さんには、さらに勉強を進めて”先取り”して、もっと上に引っ張ってあげて下さい。

長期休みは先生もご家庭も帰省や旅行などの予定が入りやすい時期ですが、先生の都合で長期間空くと、ご家庭に迷惑がかかり、せっかく身についた習慣も元通りになってしまいます。

もしも長期間(10日以上)指導を休む場合は、予定がわかった時点で必ず、**ご家庭よりも先に、あすなろにご連絡ください。**ご家庭に迷惑がかからないように、最善策を考えます。

11 こんな時、どうしたらいいの？



家庭教師の先生たちが困ってしまう時というのは、どういう時でしょうか？典型的な相談例を紹介しますので、どうぞ参考してみてください。

宿題をなかなかやってくれない時

習慣がつかまでは宿題を出しても、なかなかやってくれないこともあります。その時に「部活が忙しかった」「学校の宿題で手一杯」など、いろいろな理由で正当化しようとする生徒さん中にはいます。そこで先生が「じゃあ仕方ないね」などと言ってしまえば、それ以降もやってくれなくなります。そういう時は、生徒さんの生活習慣を聞き「このテレビ終わったあとの30分だけやろうね！」など細かく指示してあげたり、その予定時間に電話やメールでフォローしてあげて下さいね。また、ご家庭の方に負担にならない範囲でチェックを協力してもらうというのも有効な手段です。

自分の不安な教科を教えるには？

5教科の中で、自信のない教科もあるとは思いますが、ほとんどの指導の場合、教科書の基本程度の理解で十分です。心配な時は、あらかじめ『学習ゼミテキスト』に目を通させてもらったり、『解答・解説』を生徒さんに借りて、指導前にしっかり予習しておきましょう。状況によっては「ここはこうなるのかな？」と生徒さんと一緒に取り組んでみるのも、同じ目線で指導できて意外と効果的！実際、一緒に解いているうちにわかることがほとんどなので、不安になりすぎずに楽しく勉強して下さい。また、あすなろでも勉強面のサポートをしますので、遠慮なく相談して下さいね。

帰省や旅行の時は？

帰省や旅行などの予定は、早めにご家庭の方で確認の上、長期で指導が空かないよう10日間程度に調整して下さい。万が一ご家庭の希望に添えないときは、個人的な友人を勝手に紹介したりせず必ずあすなろに連絡をして下さい。場合によってはあすなろから短期の家庭教師を派遣します。また、大学のテスト期間も期間中の指導を全て休みにすることなどないように、ご家庭の方と相談しながら指導を進めて下さい。

12 就職活動について



就職活動も大変ですが、ほとんどの人は両立しています。実際に活動を始めてみるとわからない部分も多いと思いますが、一部の就職先を除いては夏前にほぼ決まります。その間、OBの話の聞いたり、企業訪問したり、1日中連絡を待つ日があったりと、忙しいかもしれません。でも、生徒さんや保護者さまとの信頼関係がしっかりできているのならこちらの事情を話せばわかってもらえたり、逆に一緒になって心配してくれたり、協力してもらえたりするご家庭がほとんどです。

基本的にご家庭の方には「最後まで責任をもって指導する」ことを伝えてあります。なぜなら生徒さんにとって**先生の交代は勉強の内容以上に精神的なダメージ**を与えてしまうからです。(実際に担当している先生が一番よくわかると思います)

先生にとっては就職活動との両立は大変だと思いますが、生徒さんのためにもがんばって下さい。がんばっている先生の姿は生徒さんの良い刺激にもなるはず！※どうしても調整が難しい場合は、あすなろまでご相談ください。

13 発達障害(発達症)について



あすなろでは様々な個性を持った生徒さんを指導してきましたが、最近増えてきているのが発達障害(発達症)を持つ生徒さんです。

一言で発達障害といっても特性は1つではありません。不注意や多動・衝動性が見られるADHDや、読み・書き・計算など、特定の学習が極端に苦手なLDなど、様々な特性があります。これらの特性はそれぞれ単一で当てはまるものを持っている訳ではなく、複数の特性を併せ持っている場合もあります。

「指導するのが難しそうだな…」と思われるかもしれませんが、発達障害を持つ生徒さんを受け持つ場合は専門のスタッフがサポートしますので、お気軽にご相談ください。

LD	ADHD	アスペルガー症候群
読む・書く・計算する・話すなどの基本的な学習能力のうち、いずれかに困難があります。 ※得意、ニガテが偏っているため、得意な所を伸ばしてあげて、頑張ればできるという自信を持たせてあげましょう。	不注意、多動性、衝動性のうち2つ以上の特徴が表れる症状です。 ※予習・復習計画帳で今日やるべきことを明確にしてあげましょう。短時間でできるようにすると、ミスしやすい所を探してリストアップしてあげましょう。	コミュニケーション障害や対人関係・社会性の障害です。興味・関心の偏りがあります。 ※わかり合うまでに時間がかかるかもしれませんが、行動に一貫性があるので特徴をつかみ、受け入れやすい指示を出しましょう。

14 不登校について



現在、全国の不登校の子どもは小、中、高で23万9,178人(2020年度文科省調査)となっています。また、不登校には至らないまでも、さまざまな悩みや困難を感じている子どもたちは、数字では表れていませんが相当数いると考えられ、今後、ますますきめ細やかなケアとサポートが必要とされています。

不登校の生徒さんは、何らかの心理的、情緒的、身体的または学校生活や家庭の事情により、登校しない、あるいは登校したくてもできない状況にあると思います。同じ不登校でもそれぞれの生徒さんにより理由はさまざまです。そのため、学校に行くことができない生徒さんの気持ちを理解することがとても大切になってきます。

不登校の生徒さんを受け持つ場合は、生徒さんの気持ちや生活のペースに寄り添った指導を心がけましょう。生徒さんのやる気を引き出す声かけとして、冊子「魔法の言葉がけ」を参考にしてみてください。

あすなろには、発達障害や不登校に関する専門の資格を持ったスタッフが在籍しており、ご家庭を担当するスタッフや先生をサポートしています。指導をする中で困ったことがあれば、お気軽にご相談下さい。

家庭教師としての最低限のルールおよびマナー

下記ルール、マナーの厳守をお願いします。

生徒さん・保護者さまと気持ちの良い関係が作れるよう、必ず守って指導にあたって下さい。

指導上のルール

- ①家庭教師として、いい加減な態度や不安がらせるような態度を取らないよう心掛けて下さい。
不明な点などがあれば、1人で解決しようと判断せず、あすなろまでご相談ください。
- ②指導の開始10分前には到着し、指導開始時刻からスタートできるよう余裕を持って行動して下さい。
万一、交通状況などにより遅れる場合は、必ず時間前に保護者さまへ連絡をして下さい。
- ③指導日や指導時間の変更は生徒さんと直接やりとりをせず、必ず保護者さまと相談の上、希望に添えるよう振替指導の設定を行なって下さい。
- ④生徒さんのテスト期間やテスト結果は常に把握し、テスト前の指導は相当な理由がない限り欠勤しないで下さい。
やむを得ず指導が困難な場合は、必ずあすなろまでご相談ください。
- ⑤留学、引越、その他やむを得ない理由により長期に渡り指導が困難な状態になる場合は、ご家庭の方へ伝える前に必ずあすなろまでご相談ください。
- ⑥あすなろの指導理念、指導方法をしっかり理解し、予習・復習計画帳の作成をお願いします。
- ⑦あすなろで指定しているテキスト以外の物は原則として使用を控えて下さい。使用の必要があると思われた場合は必ずあすなろまでご相談ください。
- ⑧指導報告書は期日までに必ず提出して下さい。

家庭教師としてのマナー

- ①あいさつは必ずしっかりしましょう。
「こんにちは(こんばんは)」「今日もよろしくお願いします」「お邪魔します」「次回もよろしくお願い致します」「お邪魔しました」気持ちの良いあいさつを心がけて、相手の目を見てしっかりあいさつして下さい。
- ②家にあがるときは靴を脱いだあと揃えましょう。脱ぎにくい時は、玄関に座らせてもらって脱ぎましょう。また、素足で家にあがることは禁止します。
- ③タバコや香水は、指導前は控えましょう。また、夏場はどうしても「汗の臭い」に関してのクレームが毎年何件かあり相手に不快な思いをさせてしまっているケースが考えられるので注意しましょう。
- ④指導中のタバコ・ガム・自分の勉強や読書は厳禁です。
- ⑤指導中は携帯電話は、指導の妨げにならないよう電源をOFFにするかマナーモードにしておきましょう。

指導に関するご質問・ご相談などは、各事務局までご連絡ください。

(電話受付 13:00~22:00 土日祝日OK)

家庭教師のあすなろ (株式会社マイ・プラン)

■東海事務局

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄4-16-17-301

TEL:050-1790-8857(家庭教師専用ダイヤル) / FAX:052-262-3252

E-mail: asunaro@seisekiup.jp / HP: <https://www.asunaro-kk.com/tokai/>

■北陸事務局

〒921-8164 石川県金沢市久安1丁目167-1

TEL:050-5497-7647(家庭教師専用ダイヤル) / FAX:076-231-3254

E-mail: ahk@seisekiup.jp / HP: <https://www.asunaro-kk.com/hokuriku/>

■甲信事務局

〒380-0811 長野県長野市東鶴賀町57-1-1F

TEL:0120-899-656(家庭教師専用ダイヤル) / FAX:050-3588-7896

E-mail: ahk@seisekiup.jp / HP: <https://www.asunaro-kk.com/hokuriku/>

